

下妻市定例教育委員会（令和２年１０月２３日）会議録

１．開催日時	令和２年１０月２３日（金） 午後３時００分 開会 午後４時００分 閉会
２．開催場所	下妻市役所千代川庁舎 ２階 第二会議室
３．出席委員	教 育 長            横瀬 晴夫 教育長職務代理者   赤荻 由美 委 員                青木 明美 委 員                齊藤 修一 委 員                山口 政志
４．委員以外 の出席者	教育部長            高橋 浩之 教育部参事          菊池 哲也 学校教育課長        國府田 聡 生涯学習課長        佐久間 秀樹 図書館兼公民館長    大山 紀男 学校教育課長補佐    板橋 孝子 学校教育課係長      北沢 祐一
５．議事録署名人	赤荻 由美委員
６．協議事項	（１）二学期制の導入について
７．議事の概要	
教育長	それでは１０月の定例教育委員会を始めたいと思います。 本日の議事録署名委員は、赤荻 由美委員にお願いいたします。 それでは、各課からの諸般の報告をお願いします。
参事	【指導課からの報告】 ○運動会について ○文化祭について ○市の計画訪問について ○オンライン英語交流 以上です。
教育長	オンライン英語交流は、大変有意義に実施できました。今後、小中

<p>学校教育課長</p>	<p>学校にも広げて展開していきたいと思います。</p> <p>また、修学旅行については、文科省からも通知がきていますが、学校でもそれぞれ代替え案を検討中です。学校の裁量で検討をしてもらっています。ただし、保護者との連携をとって、保護者によく理解してもらった上で実施するよう周知しています。</p> <p>では、続いて学校教育課からお願いします。</p> <p><b>【学校教育課から報告】</b></p> <p>○教育委員の学校見学について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校ではなく、代表校のみ短時間で実施</li> </ul> <p>○学校サポーターの配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で、学校の業務が増加したことから、県から小中学校に各学校1名ずつ学校サポーターの配置。週当たり15時間の勤務で、児童生徒の健康管理、授業準備、校内消毒作業などを担当。授業を行うわけではないが、教員の業務のお手伝いということで、様々な業務にあたってもらおう。</li> </ul> <p>○幼稚園の園児募集状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月末まで、園児の募集。現時点での応募状況について。</li> </ul>
<p>教育長</p>	<p>何か、ご質問等ありますか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、生涯学習課からお願いします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p><b>【生涯学習課から報告】</b></p> <p>○コロナの臨時交付金を活用した3つの工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合体育館の空調機設置</li> <li>・千代川体育館への空調機設置</li> <li>・ふれあいハウスの浴室等改修工事</li> </ul> <p>今年度中の工事完了が交付金の条件となっている。年度内の工事完了を目指して円滑なスケジュールですすめていく。</p> <p>以上です。</p>
<p>教育長</p>	<p>では、図書館・公民館からお願いします。</p>

<p>図書館兼 公民館長</p>	<p>【図書館・公民館から報告】</p> <p>○公民館教室について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策を行いながら貸館事業を実施。</li> </ul> <p>○図書館の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑誌の最新号のカバーと返却された本の消毒を実施。</li> <li>・読書除菌機を10月から利用開始。314件。</li> <li>・10月から話し会を再開。</li> <li>・小学校図書館見学を再開。</li> <li>・図書館・公民館はあまびえちゃんの登録をして対策。</li> </ul>
<p>教育長</p>	<p>何かご質問等ありますか。</p> <p>中学校の文化祭もあまびえちゃんを登録して行っているということで、それぞれ工夫して対策を施しているところです。</p> <p>では、議事の方に移ります。今日は協議事項ということで、2学期制についての検討を行いたいと思います。先般先行市町の視察等も行いましたので、さまざまなご意見をいただき協議したいと思います。</p> <p>では、説明をお願いします。</p>
<p>参事</p>	<p>【資料について説明】</p> <p>現在、2学期制を行っているところは、県内で5市あります。牛久市、つくば市、取手市、つくばみらい市、守谷市です。そのうちのつくばみらい市と守谷市の視察を行いました。お手元の資料をご覧ください。今年度のコロナの影響で、休校期間が長くなり、授業時数の確保が難しくなりました。そのため、今年度夏休みを短縮したり等の対策をしながら、授業時数確保に努めてきて、やっと今追いついてきたような状況です。ただ、来年の状況もまだつかめないなか、授業時数の確保ということが一つ、それから、働き方改革という観点も視野にいれて検討していければと思います提案させていただきました。つくばみらい市では、教員の働き方改革と授業時数確保、守谷市では、子どものゆとりと平準化を目指しての導入となっています。学期の区切りについてですが、二学期の区切りを10月の第二日曜日又は月曜日を区切りとすることを検討しています。第2月曜日が体育の日で休日となり、土曜日から3連休となります。その</p>

<p>学校教育課長</p> <p>教育長</p>	<p>ため、休みを入れることで、学期の切替という意識付けが行えることを考慮しました。または、9月末で区切ることも視野にいて今検討しています。</p> <p>夏休みの短縮につきましては、守谷市で検討しています。守谷市は、子どもの疲れを懸念事項としており、週3日の5時間授業を取り入れる代わりに、夏休みの1週間短縮で授業日を確保している状況があるようです。</p> <p>行事の見直しとしては、つくばみらい市では、市内の陸上記録会や音楽会をなくしているという状況があります。ただ、保護者からは要望があるようで、今後の検討課題ということです。</p> <p>受験の事項については、つくばみらい市では1学期の成績で対応、守谷市では、それに加え、11月12月の評価も入れたものをだしているということでした。</p> <p>通知表は、つくばみらい市では、前期・後期・通年という3回の成績をだしている。守谷市では、前期・後期の2回だしている。下妻では現在検討中です。また、2回になることで、夏休み前に通知表がもらえないということになりますが、夏休み中の保護者との面談時に、テストの結果等をお知らせして状況を説明しているということです。</p> <p>下妻市では、検討委員会を立ち上げて、様々な点について、検討しているところです。</p> <p>メリットですが、子どもたちを長いスパンで成績や学校での様子をみることができるため、評価に反映できること、教員にとっては、7月の慌ただしさが緩和され、夏休みに成績処理ができるという利点がでできます。そのため、7月や9月にもしっかりと授業ができるし、行事もいれることができる。先生にゆとりができるため、子どもたちに向き合える時間が確保できる。</p> <p>デメリットは、学期の途中で長期休業の夏休みに入るのも、モチベーションの持続が難しい点、夏休みの過ごし方にも注意が必要かと思います。</p> <p>【添付資料の説明】</p> <p>みなさん、いかがですか。</p> <p>県西地区の様子はどうですか。</p>
--------------------------	--

参事	例えば、桜川市は、今年度は二学期制にしましたが、来年度はもどす検討をしているとのこと。来年度に二学期制を検討しているのは、境町です。各自治体によっては、校長会では二学期制を推奨していても、教育委員会で推進しないところがあれば、その逆もあるようです。下妻市では、現在、学校と教育委員会ともに、二学期制をめざして、検討協議をすすめているところです。
教育長	コロナの状況によっては、ウイズコロナでいかなければならない状況かもしれません。それを考慮して、授業時数の確保は必要となってくると思います。現行だと、教員にとって、7月と12月はとても忙しい状況があります。でも、二学期制になれば、7月も12月もしっかりと授業ができるようになる。子どもたちとも向き合える時間が確保できる。と同時に、働き方改革にもつながると思っています。そして、保護者への説明は必要と考えていますので、よく説明を行って理解を得られるように丁寧に対策していきたいと思っています。今後、よく準備して、PTA への説明や議会への報告等を行っていき、進めていきたいと思っています。
齊藤委員	通知表の回数について検討するとのことですが、通年での通知表となると、指導要録のようなものになりますか。 守谷市では、前期・後期のみですね。通年での通知表は必要でしょうか。
参事	高校に提示するための対策という面もあります。
齊藤委員	全体的に賛成です。12月は特に教員は忙しいですね。 あと、デメリットにもあるように、生活のリズムを作りづらいということはあるかもしれません。
参事	夏休みをどう過ごすかは、やはり面談をよりよく実施することが重要かと考えます。休み前の様子をよくお伝えして、取組方等をアドバイスして、夏休みを過ごしてもらうことが大切かと思っています。夏休み後の取組に生かせるよう指導していくことが需要と思います。
青木委員	夏休みの過ごし方が重要になってくるんですね。でも、先生方に生徒と向き合う時間が確保できるというのは、いいことだと思います。

	す。
赤荻委員	授業時数の確保を第一にし、そして、働き方改革も推進できるということで、とても重要だと思います。二学期制にすると、授業時数が確保できるというのは、どういうことなのかと保護者には少し分かりずらいかもしれません。
参事	二学期制にすると、始業式と終業式が減り、そこは授業をいれられます。行事についても、さまざまな工夫ができると思います。行事を見直すことで、授業時数の確保ができてきます。
教育長	<p>最初は、抵抗あることがあるかもしれませんが、県内で実施しているところでは、特に差しさわりのないということです。</p> <p>他に何かありますか。</p> <p>それでは、基本的にこういうことで、すすめていきたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>では、事務局から何かありますか。</p>
学校教育課長	<p><b>【事務連絡】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文科省からのオンライン協議会の参加について</li> <li>・県西教委連の事業の見通しについて</li> <li>・次回の教育委員会の日程</li> </ul> <p><b>【閉　　会　　午後４時００分】</b></p>